
緋弾のARIA 《天草5世》

ヲタ君@下手くそ風味

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

緋弾のアリア《天草5世》

【Nコード】

N6574Y

【作者名】

ヲタ君@下手くそ風味

【あらすじ】

天草四郎の子孫である翡翠はRランクという最高峰の武偵に与えられる称号を持っている。そんな翡翠がいろんな事件に巻き込まれていく。作者はリアルが忙しいので更新遅めです。気まぐれで投稿します。

主人公設定

主人公設定

名前：天草 翡翠
amakusabisu i

年齢：17歳

職業：東京武偵高校2年生

所属：超能力捜査研究所
S S R

武器：妖刀『時貞』
tokisada

能力：超能力『想像具現化』

グレード測定不可能
G：EX

口癖：「つか、ねみい。」

説明：本作品の主人公にして、数々の伝説を残し、一揆を起こした
が16歳と言う若さで散った天草四郎とスペイン女性との間に生ま
れた隠し子の子孫。

小学時代から剣道を習い続け、有段者。それにしても細身な肉体。

黒髪蒼眼に赤縁眼鏡を掛けており、Yシャツを好む。

普段はダルそうにしている。でも戦闘時はかなり凛々しい。

G | EXと言う異例中の異例の超能力者。Rランク。

頭は白雪よりもよく、イケメン。

温厚で人当たりが良く、優しい性格だが敵には容赦しない。

助けを求められるとたとえ敵でも断れない性格。

キリスト教信者。

序章「帯刀」

・・・・・・・・ピン、ポーン・・・・・・・・

慎ましいドアチャイムの音で目が覚める。
キンジも同様に目が覚めたようだ。

・・・・・・・・どうやら俺もキンジもトランクス一丁で眠っていたらしい。
・・・・・・・・

たぶんこのドアチャイムの鳴らし方はユキだろう。

「おはよう、キンジ、たぶんユキだと思っから見てくる。」

「ああ。」

ドアの覗き穴から外を見ると・・・・・・・・やっぱりいた。ユキだ。
ドアを開け、挨拶をする。

「おはよう、ユキ。」

「ひーちゃんおはよう!」

まぶしいくらい笑顔で挨拶してきたこの大和撫子を彷彿させる少女は星伽白雪、通称ユキだ。

どうやら今日は弁当を作ってきてくれたらしい。

「ごめんねひーちゃん、伊勢神宮の合宿の間ずっとお世話できなく

て。」

「全然いいよ、ユキ。今日はわざわざ作ってきてくれてありがとう。」

「ころなしかユキの頬は少し赤くなっているように見える。」

「どうした？合宿で風邪でもひいたか？」

「ひーちゃんのバカっ！」

何故だか怒られた。

ちなみに、さつきから言っている合宿と言うのはSSRでたまにあるパワースポット巡りのことだ。超能力はパワースポットなどと関連していると思われるからだ。

ちなみに俺もSSRなのだが、合宿は免除されている。

なぜならGがEXだから成長の余地がないのだ。

少し悲しいね。

と、まあ、それはおいといて。

「じゃあ、弁当食べよっか。」

「うん。」

ユキとともに部屋に戻る。

「白雪おはよう。」

「キンちゃんおはよう。」

親しそうに見えるのは、人とも所謂幼馴染という奴だからだ。

「じゃあ、いただきます。」

「いただきます。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6574y/>

緋弾のARIA《天草5世》

2011年11月20日19時31分発行